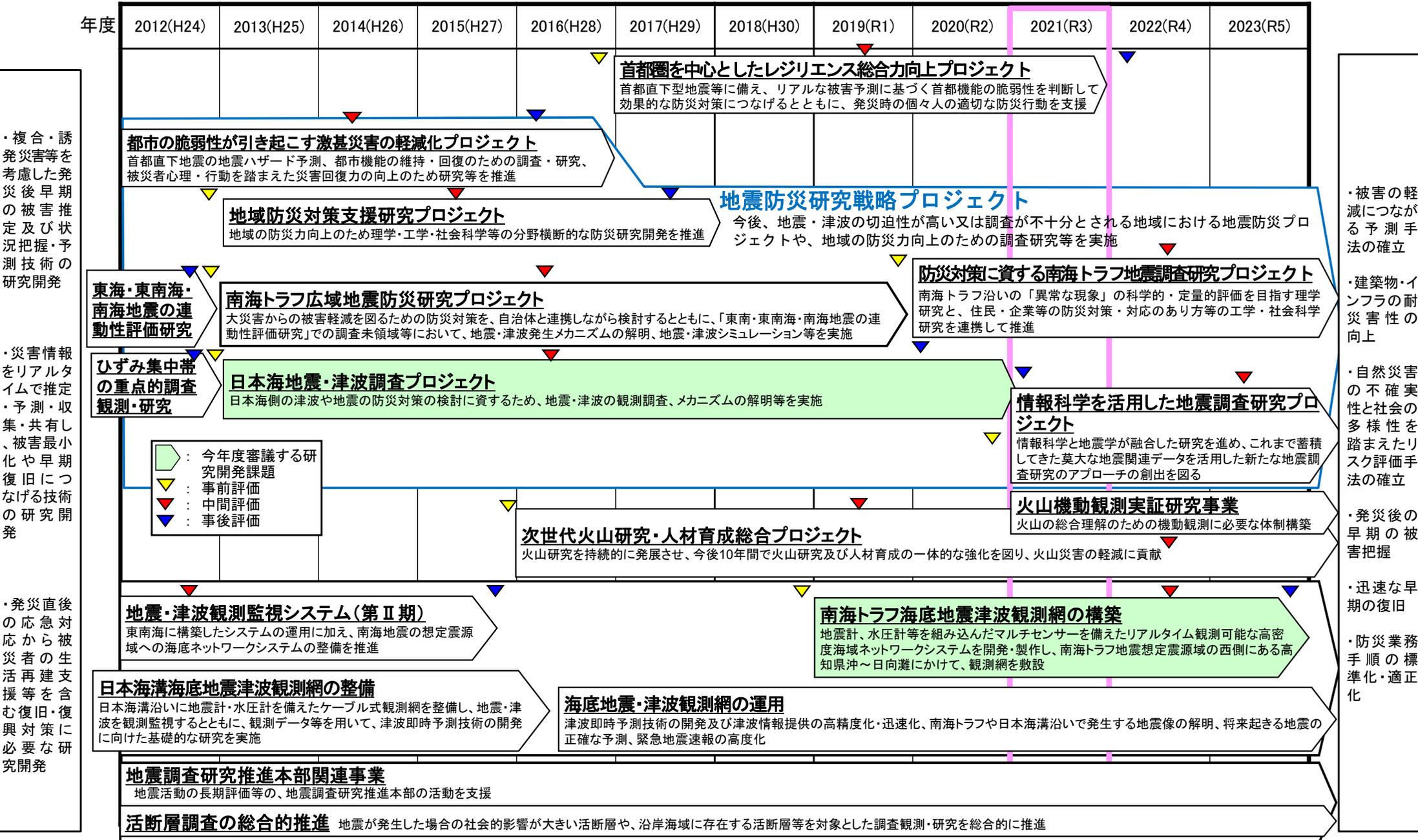


【防災科学技術に関する施策マップ】 安全・安心の確保に関する課題への対応

大目標: 防災科学技術については、大規模自然災害に対して、安全・安心を確保するべく、従来の研究手法に加えIoT、ビッグデータ、AI等の先端科学技術を活かした研究開発を推進し、災害に対する予測力・予防力・対応力のバランスがとれたレジリエントな社会を構築する。

大目標達成のために必要な中目標: (予測力・予防力の向上) 自然災害を的確に観測・予測することで、人命と財産の被害を最大限予防し、事業継続能力の向上と社会の持続的発展を保つため、国土強靱化に向けた調査観測やシミュレーション技術及び災害リスク評価手法の高度化を図る。(対応力の向上) 発災後の被害の拡大防止と早期の復旧・復興によって、社会機能を維持しその持続的発展を保つため、「より良い回復」に向けた防災・減災対策の実効性向上や社会実装の加速を図る。



・複合・誘発災害等を考慮した発災後早期の被害推定及び状況把握・予測技術の研究開発

・災害情報をリアルタイムで推定・予測・収集・共有し、被害最小化や早期復旧につなげる技術の研究開発

・発災直後の応急対応から被災者の生活再建支援を含む復旧・復興対策に必要な研究開発

・被害の軽減につながる予測手法の確立

・建築物・インフラの耐災害性の向上

・自然災害の不確実性と社会の多様性を踏まえたリスク評価手法の確立

・発災後の早期の被害把握

・迅速な早期の復旧

・防災業務手順の標準化・適正化

▶ : 今年度審議する研究開発課題
▶ : 事前評価
▶ : 中間評価
▶ : 事後評価

日本海溝海底地震津波観測網の整備
日本海溝沿いに地震計・水圧計を備えたケーブル式観測網を整備し、地震・津波を観測監視するとともに、観測データ等を用いて、津波即時予測技術の開発に向けた基礎的な研究を実施

海底地震・津波観測網の運用
津波即時予測技術の開発及び津波情報提供の高精度化・迅速化、南海トラフや日本海溝沿いで発生する地震像の解明、将来起きる地震の正確な予測、緊急地震速報の高度化

地震調査研究推進本部関連事業
地震活動の長期評価等の、地震調査研究推進本部の活動を支援

活断層調査の総合的推進 地震が発生した場合の社会的影響が大きい活断層や、沿岸海域に存在する活断層等を対象とした調査観測・研究を総合的に推進